



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年1月29日

上場会社名 旭情報サービス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9799 URL <http://www.aiskk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長

(氏名) 高橋 章近

TEL 03(5224)8281

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,014	1.4	816	6.5	838	4.8	569	4.6
2020年3月期第3四半期	8,886	6.8	872	13.8	881	13.8	597	13.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	73.32	
2020年3月期第3四半期	76.89	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	10,773	8,728	81.0	1,123.00
2020年3月期	10,839	8,447	77.9	1,086.76

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 8,728百万円 2020年3月期 8,447百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		19.00		20.00	39.00
2021年3月期		19.50			
2021年3月期(予想)				19.50	39.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	1.2	1,200	1.8	1,210	1.8	834	3.3	107.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	8,264,850 株	2020年3月期	8,264,850 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	492,367 株	2020年3月期	492,267 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	7,772,504 株	2020年3月期3Q	7,772,653 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書	
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界経済は低迷しております。日本国内では緊急事態宣言の発出等により社会経済活動が大幅に制限されたことで、企業収益、雇用・所得情勢、個人消費などのすべてが急激に悪化しました。その後は政府の各種施策により経済活動は持ち直したものの、感染の再拡大に伴い、行動の自粛要請や特定の都道府県を対象とした緊急事態宣言が再び発出されるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況にあります。

情報サービス産業におきましては、IoT、AIを活用したITサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策、RPA等の需要に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機にテレワーク環境の整備・強化に向けた需要が増加する一方で、今後も景気動向が厳しい見通しとなることから、企業等のIT投資全般は抑制傾向となっております。

このような情勢の下、当社では事業活動において様々な制約があったものの、テレワーク対応やWeb会議等の活用により顧客との綿密なコミュニケーションを図り、新規案件や既存案件の追加受注に注力した結果、売上は前年同期比で増収となりました。しかしながら、利益面は新型コロナウイルス感染症の影響で顧客のシステム投資計画の延期等が発生し、技術者の稼働率が伸び悩む状況で推移したことから減益となりました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高9,014百万円（前年同期比1.4%増）、経常利益838百万円（前年同期比4.8%減）、四半期純利益569百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より277百万円減少し、7,567百万円となりました。これは主に、現金及び預金26百万円、仕掛品60百万円の増加と、売掛金204百万円、有価証券100百万円、前払費用58百万円の減少によるものであります。固定資産は211百万円増加し、3,206百万円となりました。これは主に、投資有価証券323百万円、前払年金費用9百万円の増加と、保険積立金121百万円の減少によるものであります。

この結果、資産総額は、前事業年度末より66百万円減少し、10,773百万円となりました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より351百万円減少し、1,946百万円となりました。これは主に、未払金90百万円、未払費用74百万円、その他に含まれる預り金115百万円の増加と、未払法人税等169百万円、賞与引当金411百万円、その他に含まれる未払消費税50百万円の減少によるものであります。固定負債は前事業年度末に比べ3百万円増加し、98百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金3百万円の増加によるものであります。

この結果、負債総額は、前事業年度末より347百万円減少し、2,045百万円となりました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ281百万円増加し、8,728百万円となりました。これは主に、四半期純利益569百万円の計上による増加と、配当金307百万円の支払いによる減少によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2020年4月30日発表の通期業績予想に変更はありません。

新型コロナウイルス感染症の影響からの早期景気回復が見込めず、国内ITサービス市場への影響は避けられないものと想定されますが、当社は引き続き顧客動向を迅速に把握するとともに、継続的な提案活動を実践することで業績の確保に努めてまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,895,888	4,922,322
売掛金	2,144,157	1,939,782
有価証券	601,020	500,220
仕掛品	6,690	67,519
前払費用	191,923	133,322
その他	5,424	4,439
流動資産合計	7,845,105	7,567,607
固定資産		
有形固定資産	76,742	71,261
無形固定資産	22,730	37,260
投資その他の資産		
投資有価証券	1,277,676	1,601,022
敷金及び保証金	211,825	210,973
保険積立金	781,879	660,144
前払年金費用	348,435	358,217
繰延税金資産	260,417	254,134
その他	15,055	13,113
投資その他の資産合計	2,895,290	3,097,605
固定資産合計	2,994,764	3,206,128
資産合計	10,839,870	10,773,735

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	260,000	260,000
未払金	179,121	269,404
未払費用	434,120	508,923
未払法人税等	269,201	99,361
賞与引当金	845,830	434,137
受注損失引当金	—	1,711
その他	309,658	372,812
流動負債合計	2,297,932	1,946,349
固定負債		
役員退職慰労引当金	94,930	98,832
固定負債合計	94,930	98,832
負債合計	2,392,862	2,045,181
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	733,360	733,360
資本剰余金	624,523	624,523
利益剰余金	7,480,606	7,743,528
自己株式	△371,560	△371,668
株主資本合計	8,466,930	8,729,743
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,637	16,095
土地再評価差額金	△17,285	△17,285
評価・換算差額等合計	△19,922	△1,189
純資産合計	8,447,007	8,728,553
負債純資産合計	10,839,870	10,773,735

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	8,886,460	9,014,729
売上原価	6,866,955	7,102,172
売上総利益	2,019,505	1,912,557
販売費及び一般管理費	1,146,604	1,096,450
営業利益	872,900	816,106
営業外収益		
受取利息	2,022	4,629
受取配当金	5,177	5,260
賃貸不動産収入	906	747
助成金収入	2,154	1,350
保険解約返戻金	—	10,713
雑収入	1,195	1,689
営業外収益合計	11,455	24,389
営業外費用		
支払利息	1,617	1,465
賃貸不動産費用	1,439	436
営業外費用合計	3,056	1,902
経常利益	881,299	838,594
特別利益		
固定資産売却益	1,411	—
特別利益合計	1,411	—
特別損失		
固定資産除却損	235	72
減損損失	3,350	—
特別損失合計	3,585	72
税引前四半期純利益	879,125	838,521
法人税等	281,481	268,585
四半期純利益	597,643	569,936

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の算定方法)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

当社の事業は、情報サービス事業ならびにこれらの附帯業務の単一事業であります。したがって、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。